

(4) 国内向け貸出の進捗状況

[13年3月末の実績等の状況]

13年3月末における国内貸出の実績（実勢ベース（インパクトローンを除く））は2兆9,134億円と12年3月末比4,683億円の増加となりました。企業規模別では、大企業および中堅企業向け貸出が4,687億円、中小企業向け貸出は2,386億円各々増加する一方、個人向け貸出は2,390億円の減少となりました。

[中小企業向け貸出増加の要因等]

中小企業向け貸出は2,386億円の増加となりました。引続き低迷を続ける景気動向を背景に資金需要には回復がみられないことに加え、財務リストラの推進に伴う大企業関連子会社の有利子負債圧縮の動きによる借入金返済、不良債権回収の促進に伴う貸出残高の減少など、貸出残高の増加に対しては極めて困難な貸出環境が続いております。こうした中、

中堅・中小企業の取引を推進する法人業務グループにおいて、本部による営業店の取引開拓のバックアップ体制を拡充し、成長産業・成長企業を中心とした優良な新規先の開拓に努めました。

新商品の提供や商品内容の改定、各種貸出ファンドの設定により、中小企業の資金ニーズに一段と的確な対応を図りました。

既取引先の中から貸出のシェアアップ推進対象先を抽出し、営業店と審査部による個社打合せを実施し、積極的な資金ニーズの発掘を行いました。

以上のような様々な貸出増加のための諸施策の実行を通じて、健全な中小企業に対する円滑な資金供給につとめた結果、平成12年度年間計画を達成することができました。